

平成24年度決算に対する

各党派の意見表明・討論

平成24年度一般会計ほか、4特別会計決算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、決算特別委員会(委員長 田代孝海、副委員長 菊地靖枝)を設置し、13日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。各党派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

持続可能な「財政の健全化」を求めて！ 練馬区議会自由民主党(15人)

平成24年度練馬区一般会計および4特別会計の歳入歳出決算について、認定に賛成の立場から意見表明を行う。

平成24年度の普通会計の決算状況をみると、経常収支比率については、昨年度からさらに0.3ポイント増の89.8%となり、過去最悪の状況となった。本区の財政の硬直化がさらに進んだと言わざるを得ない。国の月例経済報告によると「景気は緩やかに回復しつつある」と基調判断を示しているが、今後の経済情勢は先行き不透明な部分があり、区の財政も厳しい状況にある。しかしながら区民の生活環境を維持向上するため、さらなる「行政改革の推進」および「財政の健全化の確保」、

「区民福祉の向上」、「区内産業の振興」、「教育の充実」を図るべきとの観点から、以下、具体的に要望する。【議会費・総務費】①区政経

品の使用率向上に努力を。③医療費削減のため、さらなる予防事業の取り組みを。

【産業経済費・地域文化費】①アニメのまち練馬を代表する「アニメの博物館・殿堂」は大泉地域に整備を。②国の緊急経済対策は、都との連携を強化し、資金調達等の環境整備を。③経済波及効果や雇用創出をもたらし企業誘致支援を。④「練馬まつり」、「照姫まつり」は、全区民のコミニティの醸成に資する事業である。区が積極的に関与を。⑤都市農業振興のため、農園レストラン誘致および、練馬野菜を使用した「出張レストラン」の実現を。⑥「(仮)ねりまシテイマラソン」の実現に向け、さらなる努力を。⑦スポーツに親しみ、健康で活気あふれる「ねりま」の実現に最大限の努力を。

【保健福祉費・介護保険費】①災害時要援護者名簿の充実を。②区西部地域(大泉地域)に計画されている新病院の整備については、財政的支援を含め、今以上の支援の枠組みを。③順天堂練馬病院については、90病床の増床を評価する。今後、石神井東中の保護者および周辺住民に丁寧な対応と説明を。④地域包括ケアシステムの推進に伴い、在宅医療のための後方病床整備を。【環境費・都市整備費・土木費】①「(仮)こどもの森」については、企画・運営、緑

の管理、子ども遊び等、専門性の高い事業の整備を。②保護樹木・樹林の補助制度の充実を。③西武池袋線高架化事業および高架下の開発に引き続き取り組みを。④都に引き続き取り組む。⑤西武新宿線井荻駅から東伏見駅付近の立体交差事業の推進を。⑥建築確認申請事務については、迅速な事務対応を。⑦まちづくり条例については、時宜に適用を見直しを視野に入れ、不断の対応を。⑧買い物自転車向け駐車場の整備を。

【教育費】①学校の安全対策に元警察官等による警備員の活用を。②二期期制を三期期制に戻されたい。③新たな学校適正配置および小中一貫校の新設を。④区立幼稚園を2園廃園することにより捻出される経費は、公私格差を無くすため、私立幼稚園に予算配分を。⑤学校生活支援員、臨時支援員は、増加傾向にある。教職員の指導能力向上、配慮を要する児童生徒の将来を見据え、適切な支援員の配置を。

【子ども家庭費】①保育所待機児童対策は強力かつ着実に推進し、待機児童ゼロ達成を。②子どもの教育は、特に0～3歳までは、自宅にて家族の大きな愛情で育てるのが望ましく、より多くの在宅保育家庭が増えるよう、在宅保育家庭への支援充実を。③学童クラブ室は、安全な学校内に設置し、設置環境の悪い学校から優先的に整備を。④区直営の学童クラブにおいても、休日保育や延長保育の実施を。⑤子ども医療費助成は、制度の持続性を踏まえ、サービスとコストのバランスおよび事業成果の不断の見直しを。

【区民費・国民健康保険事業会計・後期高齢者事業会計】①区民事務所・出張所の再編の周知徹底を。②全中学校で社会保険労務士による働くことと年金の授業開催を。③緑内障等の特定健康診査対象の拡大を。④お薬手帳の啓発活動を含めた予算確保を。

【産業経済費・地域文化費】①中小規模アニメ事業者向けの補助金メニューを。②商店街補助金不正請求の再発防止を。③農家と農の学校の修了生とのマッチング構築を。修了生や農業者向けのホームページ開設を。④指定保養施設の利用者数の増加を。

【子ども家庭費】①保育所の保育委託契約は延長を。②全

病院新設と医療機能充実で区民の健康を守れ

練馬区議会公明党(12人)

平成24年度練馬区一般会計および4特別会計歳入歳出決算について、賛成の立場から意見表明を行う。

【保健福祉費・介護保険費】①災害時の障がい者安否確認の担当者。②非婚ひとり親家庭の寡婦控除みなし適用を。③こどもには赤ちゃん訪問事業等訪問員の就労単価アップを。④がん検診の受診率アップを。⑤特定不妊治療の助成事業継続を。⑥順天堂練馬病の増床により救急医療の拡充、周産期センターの新設、手術室の拡充、がん治療センターの整備等さらなる医療機能拡充を。⑦区西部に整備予定の療養型回復期リハビリテーションの新病院の病床確保は全力で。⑧各総合福祉事務所に手話通訳者の週1回配置を。手話通訳養成クラスは、昼の部も受講できる体制に。

【環境費・都市整備費・土木費・公共駐車場会計】①みどりパスの再編を。②路面下空洞調査の実施を。③水害から区民の生命と財産を守る対策拡充を。④歩行者横断部の段差について、安全な段差に。⑤エスコートゾーンの整備の促進を、警察に要望を。⑥買い物客用の駐輪場整備を。

【教育費】①緊急一斉メール加入拡大を。②学校の防犯対策として民間の警備員や警察OB活用を。③登下校に防災行政無線の活用を。④学校生活支援員の研修と増員を。⑤難聴児の遠隔情報サービスの文字通訳者への謝礼金増額と事業拡大を。⑥学校トイレ改修は、学校営繕費の活用を。⑦小中学校の特別教室と給食室に空調機設置を。

【子ども家庭費】①保育室の保育委託契約は延長を。②全

定緊急輸送道路に面した建物の耐震診断助成の延長を。③耐震助成の弾力的な運用を。④葉っぱいい基金の活用計画を保護樹木の管理、維持費用にも活用を。⑤施設改修改築を実施するための財源について、区債の発行目標や施設整備基金の積み立て額を明確に長期計画作成を。⑥消費税率のアップやインフレの影響による改修改築費用の見直しを。

持続可能な財政運営に向け事業の精査を

練馬区議会民主党・無所属クラブ(5人)

行政評価の進展と適切な予算執行を評価し各会計決算を認定。①区職員の接遇向上を。②自助力向上となる避難訓練の実施を。③災害時協力協定締結事業者との訓練の早期実現を。④職員の手帳付車両の廃止を。⑤証明書発行拡大の際は利便性、費用対効果の検証を。⑥重複・頻回受診者訪問指導事業の対象者拡大を。⑦郵送物に視覚障害者対応を。⑧町会加入向上策を。⑨地域コミュニティ活性化プログラム実施は多様な団体と町会の交流に努力を。⑩商工業活性化施策を。⑪禁煙支援事業の見直しを。⑫口腔がん予防の周知と検診実施を。⑬介護保険、高齢者福祉第6期計画に向け意識意向調査等を含め、精査を。⑭動物同行避難対策の地域啓発を。⑮移動サービスの社協への補助金見直しを。⑯みどりバス保谷ルート再編時は丁寧な対応を。⑰みどりバス大泉ルートの利用率向上対策を。⑱自転車ルート整備の際、バス停や荷さばき車両への考慮を。⑲自転車マナー向上のため事業拡大と区内3警察と連携を。⑳歩行者と自転車表

示の改善を。①緊急一斉メール活用に対策検討を。②教職員に精神疾患者に対し、復帰後も含め取り組みを。③特別教室にエアコン設置を。④学校生活支援員の柔軟な対応を。⑤小中一貫教育の検証、事業見直しも含め対応を。⑥放課後ひろば事業、学童保育の土曜日、三季休業中の運営要望に対し民間委託も含め検討を。⑦放課後ひろば事業の空き教室活用を。⑧小児救急に向けた家庭医学力啓発を。⑨休日保育の調査と拡大を。⑩家庭福祉員・認定保育所・保育室等への委託時健診や定期健診の支援を。⑪事務事業コスト計算書を活用し行政事業の精査を。⑫生活保護者の就労支援は、官民協働で区の社会資源活用を。⑬多額の不用額は他施策を阻害。適正な執行を。⑭区の不祥事再発防止策を。

【子ども家庭費】①保育室の

【子ども家庭費】①保育室の

*7エスコートゾーン：視覚障害者用に横断歩道の中央付近に敷設した帯状の点字ブロック。



ひとりひとりの生活の声を傾けた対応を
生活者ネット・市民の声・ふくしフォーラム(5人)



決算特別委員会

人員削減により職場環境が悪化し、困窮している区民に支援が行き届かない。過酷な労働条件により個人情報の紛失や金銭管理に関わる不祥事が相次いで起きている。にぎわいばかりを求め、生活困窮に危機感の無い決算に反対。
①職員の職場環境・労働条件を見直し、抜本的な自殺防止対策を。②正規職員と大差ない「常勤的非常勤」職員に正規雇用への道を開け。③委託化・民営化計画を見直し、不安定雇用の広がりに歯止めをかけよ。④コミュニケーション支援に変わる出張所での細やかな対応と説明を。⑤NPO活動支援センターはネットワーク型ではなく、活動の拠点をつくり機能強化を。⑥自衛官

擁護するオンブズマンの配置を。⑯就学時健診で障がいのあるなしを判断し、子どもの就学先を振り分けるな。⑰面積、有資格者の割合など保育の質は確保し、保育所の待機児解消を急げ。⑱若者サ

行革のめざす区民福祉の切り捨てやめよ
日本共産党練馬区議団(4人)

一般会計、国保会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の4決算に反対する。
反対理由の第一は、雇用と社会保障改悪で区民生活が困難な時に、一律3%、区民に必要な予算を削減したこと。
第二は、約106億円もの不利益を出し基金にため込んだこと。
第三は、大泉駅前再開発など不要不急の事業は聖域化。区民の深刻な実態に即した住民福祉の機関としての役割を果たす立場から以下要望する。

- ①公契約条例の早期制定を。
- ②国保、介護、後期高齢者保険料の軽減を。
- ③70〜74歳医療窓口負担増の中止を。
- ④区

ねらみみんな・未来@2013
練馬区議会みんなの党(3人)

平成24年度各会計決算を認定。【総務費等】①民間委託、指定管理の目的達成度と今後のあり方の議論を。②区保有の未利用、低利用資産の売却を。【区民費等】区民事務所・出張所の再編に際し、利便性と窓口サービスの維持向上を。

【保健福祉費】①更生保護サポートセンターの設置を。②生活保護者の自立支援の強化を。③障がい者の生活状況を把握、柔軟な支援を。【環境費等】区立学校校舎屋上の太陽光パネルの効率・効果的な設置のため、条例施行規則の見直しを。【教育費】①図書館内への蓋付き飲料持ち込みを早急に認めよ。②ツタヤやスターバックス等民間活力を導入した武雄市の公立図書館と窓口サービスの維持向上を。【子ども家庭費】①保育園の待機児童問題の継続した対応を。②「子ども・子育て支援新制度」について充実した取り組みを。【一般会計歳入等】自主財源の確保と税収外収入に努力を。

かじ取り不能区政切り換え区民生活こそ守れ
練馬区議会民権のちから(1人)

平成24年度一般会計、国保、介護保険、後期高齢者医療の4会計決算の認定に反対する。

反対理由の第一は、区民生活を守るという本来の自治体の使命を全く軽んじた決算であったことにある。
第二は、委託・民営化で区民サービスの質の低下と官製ワーキングプアを招き、不安

区長無気力怠慢責任放棄で職員不正事件多発
オンブズマン練馬(1人)

24年度決算は経常収支率が89.8%と危機的状況だ。都財政調整金に依存し独自改善策が全くない。区内産業育成も掛け声だけで具体策なく、農業・アニメも補助金に頼るだけだ。区長は行政力なく無気力で財政運営上全く緊張感ない。職員も無秩序で小学校給食費着服、生活保護費預り

金紛失、飲酒教員の生徒資料紛失事件等々不正事件多発だ。日大との50億円保証金返還訴訟も泥沼状態で、区西部地区新病院計画も病床は3分の1、大江戸線延伸計画は全く進展なく、外環道排ガスも無策だ。区建築物違法事件は法令順守の基本を失われた。全予算補助金の白紙抜本改革が必要だ。

信無くば立たず。区民の信頼を回復せよ
練馬区議会無所属(1人)

平成24年度一般会計および各特別会計の歳入歳出決算について賛成する。しかし、実質収支比率3.3%、経常収支比率89.8%となるなど、財政の硬化が年々進行していることが懸念される。今後とも扶助費や施設改修・改築経費の増大が想定されることから、中長期的視野に立脚した適切な

義務と権利

練馬刷新の会(1人)

一般会計および、各特別会計の決算に賛成はするが、後年度の負担を、今以上に留意することを望む。高齢化社会

平成24年度決算に対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対 ※自民党の議員数は、議長を除いた人数

会派名	自民党	公明党	民主無所属	ネ・市・心	共産党	みんなの党	民権	オンブズ	無所属	練馬刷新	結果
会計	15人	12人	5人	5人	4人	3人	1人	1人	1人	1人	
一般	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	認定
国民健康保険事業	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	認定
介護保険	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	認定
後期高齢者医療	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	認定
公共駐車場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

議会Q&A

Q 決算の認定とはどういうことですか？

A 予算が一般会計年度における収入、支出の見積もりであるのに対し、決算は、収入、支出の実績であり、結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われて、どのような成果をあげたかを住民の立場に立って審議し、判定することです。これは、予算の議決権に対応する議会の大事な権限でもあります。議会が不認定としても法的にはその効力に影響はありません。ただし、地方自治法の規定により、区長は都知事に報告するとともに、住民に議会が認定しなかった旨を公表する必要があります。

によって、歳出の自然増となることに対応されたい。行政が施策を増やすことは、個人への介入を増やし、自立心を奪うことに繋がる。人権は、人権と叫べば良いものではなく、財政と法の支配が無ければ崩壊する。国民